

第4期秋田県がん対策推進計画 個別目標一覧

分野	指標名	現状値	年	目標値	年	該当 ページ	目標値の設定の考え方 (目標値の算定根拠)	出典名
I がんの予防								
1 がんの1次予防（がん検診）								
①	20歳以上の人の喫煙率	15.6%	R3	10.1%	R9	11	<p>令和3年度の右記調査の回答者（1,567人）中、喫煙者（244人）の内、たばこをやめたいと考えている人の全て（86人）が、たばこをやめた場合の喫煙率 $244人 - 86人 \div 1,567人 = 10.1\%$ ※健康日本21（第3次）と同じ算出方法により算定</p> <p>本県の第3期がん計画では男女別の目標値としていたが、施策の実施に当たっては、男女を区別せず実施すべきものであることから、第三次健康日本21計画と同様に本県の目標設定も男女計により行うこととする。</p>	秋田県：健康づくりに関する調査報告書
2 がんの2次予防（がん検診）								
②	がん検診受診率 (国民生活基礎調査)	胃がん 52.3% 肺がん 55.4% 大腸がん 50.3% 乳がん 46.3% 子宮頸がん 45.9%	R4	60%	R10	15	全ての部位で、がん対策推進基本計画（国）に掲げる60%以上を目指す。	厚生労働省：国民生活基礎調査
③	精密検査受診率 (地域保健・健康増進事業報告)	胃がん 79.2% 肺がん 86.9% 大腸がん 75.3% 乳がん 91.6% 子宮頸がん 93.7%	R2	90%	R8	15	全ての部位で、がん対策推進基本計画（国）に掲げる90%以上を目指す。	厚生労働省：地域保健・健康増進事業報告
II がん医療								
1 がん医療提供体制の充実								
④	75歳未満年齢調整死亡率	77.2	R3	60.1	R10	22	<p>計画最終年の令和11年に判明する令和10年における75歳未満年齢調整死亡率（推計値）の全国平均を目指す。 ※別紙参照</p>	国立がん研究センター：がん情報サービス「がん統計」

分野	指標名	現状値	年	目標値	年	該当 ページ	目標値の設定の考え方 (目標値の算定根拠)	出典名
2 チーム医療の推進								
⑤	拠点病院等においてチーム医療を受けたと感じた患者の割合	90.0%	R 5	100%	R10	23	全てのがん患者が、多職種によるチーム医療を受けたと感じることを目指す。	秋田県：がんに係る医療従事者及びがん患者に対するアンケート調査
⑥	異職種間で自由に意見できる雰囲気であると感じた医療者の割合	81.6%	R 5	100%	R10	23	チーム医療の推進にあたり、拠点病院等の医療者全てが、異職種間においても自由に意見できることを目指す。	秋田県：がんに係る医療従事者及びがん患者に対するアンケート調査
4 がんと診断された時からの緩和ケアの実施								
⑦	緩和ケア研修会修了者	81.7%	R 5	100%	R10	26	「がん等の診療に携わる医師等に対する緩和ケア研修会の開催指針」で求められる、がん等の診療に携わる全ての医師・歯科医師等が研修を修了していることを目指す。	秋田県調べ
⑧	緩和ケアセンター機能を持つ施設数	1 施設	R 5	3 施設	R11	26	県北・中央・県南地域の 3 地区に、緩和ケアセンター機能を有する施設が整備されることを目指す。	厚生労働省：がん診療連携拠点病院等 新規指定推薦書・指定更新推薦書・現況報告」、秋田県調べ
5 妊よう性温存療法								
⑨	がん・生殖医療の意思決定支援に関する人材育成を実施している拠点病院等の割合	75.0%	R 5	100%	R10	27	拠点病院等においては、がん・生殖医療に関する意思決定支援を行うことができる診療従事者の配置・育成に努めることとされており、全ての拠点病院等で人材が育成されていることを目指す。	厚生労働省：がん診療連携拠点病院等 新規指定推薦書・指定更新推薦書・現況報告」、秋田県調べ
Ⅲ がんと共生								
1 相談支援及び情報提供								
⑩	がん相談支援センターを知っており、利用したことがある患者の割合	7.7%	R 5	100%	R10	31	外来初診時から治療開始までを目処に、がん患者及びその家族が必ず一度はがん相談支援センターを訪問することができる体制を整備することが望ましいとされることから、全てのがん患者が一度はがん相談支援センターを訪れることを目指す。	秋田県：がんに係る医療従事者及びがん患者に対するアンケート調査
⑪	「がんと診断されたことによる悩みは、何らかの支援によって現在は軽減された」と回答した患者の割合	73.2%	R 5	100%	R10	31	がんと診断された全てのがん患者の悩みが、相談支援や情報提供などにより、軽減されることを目指す。	秋田県：がんに係る医療従事者及びがん患者に対するアンケート調査

分野	指標名	現状値	年	目標値	年	該当 ページ	目標値の設定の考え方 (目標値の算定根拠)	出典名
3 がん患者等の社会的な問題への対策								
⑫	がんで初めて治療・療養した時、一度も復職・復帰せずに退職・廃業した患者の割合	3.1%	R5	0%	R10	36	適切な支援や理解を得られず、がん治療後に一度も復職・復帰せずに退職・廃業するがん患者がいない社会を目指す。	秋田県:がんに係る医療従事者及びがん患者に対するアンケート調査
⑬	がんと診断されてから、周囲の対応が原因で傷ついたことがある患者の割合	1.6%	R5	0%	R10	36	がん患者が傷つき孤立などをしない社会を目指す。	秋田県:がんに係る医療従事者及びがん患者に対するアンケート調査
Ⅲ 基盤の整備								
3 がん教育・がんに関する知識の普及啓発								
⑭	外部講師を活用して「がん教室」を実施した校数	21校	R4	40校	R10	41	がん教育に外部講師を活用した学校の割合を、全国平均並みの水準まで高めることを目指す。	秋田県教育庁:学校保健調査
4 がん登録								
⑮	地域がん登録・全国がん登録データの活用申請数(累計)	55件	R4	125件	R11	42	より多くのがん登録情報の活用によるがん対策の充実を図るため、例年8～9件の申請を、約2割増の10件/年×(R5年度+計画期間6年間)とする。	秋田県調べ
5 デジタル化の推進								
⑯	オンラインによる相談支援を行う拠点病院等(秋田県調べ)	(確認中)	R5	12病院	R11	43	全ての拠点病院等で、オンラインでの相談支援が受けられる環境の整備を目指す。	秋田県調べ